京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價 本紙▲一枚金三錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久靜一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大大三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川本町三丁目 電話一二一番
東京支局 東京市京橋區南金六町七番地

群山俄道中記 ナ便

山雲水神生

遊ひて七日藤本合資會社に招かれ、主人藤井寛太郎氏の乞ひによリ、社員三十余子に一場の講話をなす。川崎水利組合理事有志吉田氏等來り會す。

此夜藤井組合長川崎理事等の招待により、旗亭豊州樓に於て晩餐の饗を享くる席に列なるもの藤井川崎吉田澤村の諸君にして吉田君の當意即妙の滑稽突梯に一同頤を解く。

翌八日、大阪毎日社の關君京日の並川君等と共に、木浦丸に搭じて群山を發す、群山日報の松波龍門亦聯を以て入京すべく一行に加はり、群山居留民長阪上貞信君亦船客の一人たり。

午後三時船は纜を解いて錦江の漣波を碎きつゝ下流に進む、漫々たる大江の兩岸山低ふして夏雲疊々、江岸の綠樹水に映じ山影倒さまに浮かぶ處、白帆浮鷗の如く上下して江風靜かに衣袂を吹く快言ふ可からず。

鋼漁の名所竹島を左舷に見て船は大洋に入る、海波穩かにして鏡の如く關君の安心一方ならず。

進むこと數千ならず先頭遙かに望めば一抹の濃氣東西に流れて海を蔽ふ、聞ふ迄も無く朝鮮海の名物濃霧にして常に航路者の憂ひとする處、此處に於て一同眉を顰む。

時に民長阪上君曰く、木浦丸と群山丸の二船長は十年一日の如く南洋航路に從事し、既に業に潮流氣壓其他海上一切の變化を知得し、比類無き熟練家として令名あり、曾て一回も緣船術に遺算有りしこと無し、故を以て余は常に此航路は兩者の一を擇ぶと、關君重ねて安心す。

須臾にして濃氣幸ひに東南に浮流して行路海濶、日將に落ちんとして海面倏ち雲時にして暗褐色の夜の衣は、東の空忽ち射ゆ血を流せる如く、水天灼爛眼爲めに眩せんとす。

より刻一刻見る見る一天は暗く、漁火一點遠く波間に明滅して天空漠々。

海洋の暮色蒼然として身に迫るの時、我は只無邊の大に捉はれて幽かなる觀懐きを感ずるのみ。

燦として檣頭に輝く北斗七星、遙かに是を仰いで天地の悠久を想へば、愴然として我心沈み、踏るに懶く笑ふて興無し、即ち觸り舵頭に立てば四情動か茫として我を忘るゝこと多時、忽ち海風夜冷の氣を覺ひて寢室に還れば大毎の關君既に有り矣。

三更卒然奇聲を發して關君頻りに呼ぶ余睡氣深ふして應ふるに懶し、關君愈々セキ込んで遂に這ひ出す、此上は罪ぢやと其故を問へば、由來神經過敏の關君早や恨めしそうな聲を出し「キキ君シマツタ……とうとう濃霧に乘り入れた、聞き給へアノ徐行機關の音のぬるけさを、今の速度ぢや一時間四五哩、それにしても今船を進めちやいかぬ、ストツプせぬと衝突が危險い、ソラ警笛だ船が危險い、船長は老練でも君濃霧ぢやあモウダメだ。

サテ困つた君何んだ、寢て居る段かと搖り起す關君は、濃霧に坐礁はツキ物とモウ極めて居る。

お附合に一言二言何時しか夢は華胥に入つて前後不覺、再び關君の奇聲に驚かされて又濃霧かと横着に問へば、イヤ安心し給へ仁川に着いたと云ふ、此上安心して寢ても居られず起き上れば君は實に呑氣な男だと不平やら羨ましいやら判らぬことを云ふ關君の眼が赤い、どうしたと聞けば昨夜はウツ〳〵寢なかつたとは御苦勞な。

イザ上陸と身仕度して不斗ポツケツトに手を當つれば紙入れがないぞ、群山ハテナと考へ考へするまでもなく、若宮旅館の床の間に置いたのは事實明白、忘れ物の持病に藥はないか知ら。

ソレ見給へ君があんまり無落着に澄ますからそんな事だ、我輩など注意小心曾つて斯る愚を爲さずと、自分の事の樣に關君がクヤシがるも、友情の一端とげに嬉し。

七時仁川上陸忘れ物の注意は早速一電を發し置き、九時半愈々京城に歸着しぬ。

京城を發して茲に僅々八日間の小旅行文字に書けば長いもので群山俄道中記の稿を逐ふこと既に二十有一回、愉は記す可き事もあれど、所謂下手の長談義、一先茲に筆を擱き、南鮮農事の一班に就ては別に題を改めて是を報せむ。

嘱筆に際し留者滯群中の厚知天野群山府尹、藤井組合長、川崎理事、麻生韓銀出張所長、藤本合資會社の澤村君、平田又水君、山田技長其他有志諸君の好意を謝し併せて其健康を祈る。

臨登水利組合の成功を祝して

曉け初むる青田十里や水の音

●物々し草(二)

星廼家

▲地獄の道は三方にあり、中の道を行けば剣を踏む、剣を踏んでも和尚恨むなよ。何たる事か吾知らず、知らざるは魔除けの道とて四方にある乎。咄。

▲此頃の新聞はヤケ出したりと云ふ通り、かり者ありたり、而かも大道で、尚其の興中で、物々しき云ひ草と思ひど、其の人には其の人の主義なる者ありぬべし。

▲宴會、公會等の場合會員全部は女々しきリボンを胸に飾る事流行し來れり存在物の夥多なるに連れて、世の中の事項隨つて多くなる所以なり。簡單なる道德の修養法はなきものにや。

▲一種の金儲けを妨害されざるが爲め讓め用意せるリボンの胸飾りは此頃小學校の女兒の胸にも吊るされたり。良妻賢母は家事經濟の親玉位に考ふれば足る世の中とは勿氣の沙汰よである。

▲貸屋の看板娘、は古き昔阪上轉磨が出羽に下だりし際、酒田の與吾作と云ふ貸屋へ立ち寄つたる時に目に映きたりとあり。見たる人なき故眞かも知れず、が。

▲龍山某味噌屋の女將、看板となれる由拜見に行きたる所、強ちならぬ事はなきもツケられぬ間に引つ込むが宜からん歟。

▲人を見て人と思はぬ人は、人に見られて人にあらざる人乎。

▲女子若し男子に惚れられんと欲せば必ず其の初め其の男子と相見ねたる時着たる着物を用ゆべしと有美子云ふ。

▲東京の人、大阪の人、日本の人、朝鮮の人、皆同じ五体を有する動物なり唯主義の相違のみ。

▲動かざるを品位高潔の光とは誰かの語なり、人の面部を飾る具、即ち鼻か、高きも低きも、歪めるもか、併しながら、落ちて凹めるは奈何せんや。

●新刊紹介

△貿易通報(六月號) 流石に大坂の商業會議所の月報程ありて純然たる經濟雜誌の體を備へ講話寄書調査貿易彙報雜錄商況物價金融統計の各欄材料豐富經世家實業家の机上必ず一本を備へざる可からざるものあるを思はしむ

▲東洋時報(第百五十三號) 久保要臟氏の「南滿洲所見」門田正經氏の「臺灣督會見の記」及び調査岳城貞花業あり濱田青陵氏の「滿洲の考古學的遺跡」は研究資料に値ひす(東京市麴町區内山下町東洋協會)

▲實業之世界(七月一日號) 林健氏の(米國今や支那に政治的經濟上の地位を永久に確立す)は十頁に亙る論文は經世の文字なり此外(人氣を得る人、得ぬ人)は三宅雪嶺博士の國民訓社說にて(東京電燈會社の電燈料値下げ發表)と題し同誌主張の勝利を叫ぶと同時に尚彼に一擊を加へたゞもの痛快といふべし(東京市芝區愛宕町三丁目實業之世界社一冊十一錢)

▲滿韓之實業 第六十七號) 滿洲朝鮮に於ける實業上の記事例によつて全誌を充たせり其有益なるや言ふ迄もなし(京城大和町滿韓實業協會)



召使れ初

黙法師

第九十三回

「ね」と澤野は睨み付けて「そなたに訊ねなるでない、控ね」

されどれ察は控ねざりき、主に頼むれ道の大難、意地惡き年寄一言に怖れたれば、儼然として頭を擡げて口を禁む時なるまじと思ひをなして、

「怖れながられ詞を返し參らせまするは只今御糺問、旦那樣御存じあらせられぬ事でござりまするで、其事此方より申上げるを、れ採用ひあらせられませぬでござりまするか」

云ふ中に一尺あまりも膝を前めぬ、彼女の目は血走り、彼女の唇は慄ひ、彼女の頰に漓く紅き心は濕りぬ、澤野の口上尚當を得ねこざらば、此場を去らず躍りかゝり斬し殺して、御當家大奥の上を掩ふ黑き雲を拂はんとは、彼女先刻よりの覺悟なりき

「まだいふか」と澤野は怖ろしく鋭き聲を、眞向より浴せかけて「まだ〳〵いふか」

「何時までも申し上げまする、察の白狀れ採り上げあらせられぬ上、何時までも同じ事繰り返へし申し上げるでござります」

凛とした聲、宛ら岩の中心より響き出づる如く聞ねし

「れのれ不禮、いかに作法を心得ぬ下司女とは云へ御前樣れ姿が目には付かぬか、直々れ問下されたを難有いとも思はず、づけ〳〵と云ひたいまゝをいふは正しく上を恐れぬ仕方、れ道どのれ様、この様を見ても思ひやらるゝ、自体うなたなど參らるゝ場所でない、退れ、退れ、退れいの」

「いゝ、退りませぬ、假へ澤野樣仰せござりましても、旦那樣れ身の明り立たぬ間は退りませぬ」

「これ〳〵」とれ道は見返へりて、目んで在らぬかの」

れ道は血を吐く思ひなりき、血を吐くよりもまだ苦しく、四十二の骨々を挫き折らるゝ思ひなりき、れ察はその心の中に察しやりて、はら〳〵と落つる淚の中に、詞もなく平伏しぬ、澤野はさもあらんと云はぬばかりに、やがて目をれ道に轉じて

「され道どの、先刻の返答、什麽どござりまするな、あなたれ心に覺白はあらせずとも、あなたれ名を宛にしたるれ文、れ辨解ござりまするか、あらば此にて御遠慮なく仰せござりませ、御前樣も御聞かせござります、御附役衆皆た聞かせござります」

れ道は澤野をきつと見上げたるが

「神々樣御照覽、私身に覺白ござりませぬ、なれど、私名に宛てたるが不義とあれば、一言辨解ござりませぬ、御法次第御仕置きあらせられませ」



の中には感謝の心、口の頭は叱るやうに「澤野樣へ對して不禮口上、殊に御前樣御前、控ねてあるぢや、じつとして控ねてあるぢや」

「旦那樣々々」とれ察は悲しげに「そりや什麽を仰せ遊ばすでござりますよ、旦那樣に曇りはなくして、察の身に覺ねのある御不審、是處で有樣を申上げるが、何故惡いでござります、今日の御詮議、白いを白い、黒いを黒いと、御仕分けあらせられるではなくて、白いを黒い、黒を白いと……」

「ね、まだ云やるか、まだ〳〵云やるか」と、れ道は片手に疊の緣を叩き「天道樣御照らさせ、神々樣御照覽、可惜口に風冒かせずとも、身の明りはやがて立つ、假へ現世で立たずとも、何時か一度は立つ時あらう、急く處でない、御前ぢや〳〵、御前とあるに隨

東京電報（四日發）

▲**遣英宮御旅程** 遣英宮殿下の御一行は倫敦御出發後十五日佛國マルセイユ、二十一日ポートサイド、二十五日スエズ着八月三日古倫母着九日新嘉坡着十日發十六日香港着十九日發二十二日神戶御着二十七日御發二十八日橫濱に御歸着の旨公電ありたり

▲**遣英宮御發期** 東伏見宮同妃兩殿下は七月八日賀茂丸にて歸途に上らるべし

▲**乃木將軍の旅程** 乃木大將は七月二日巴里に向ひ維也納等を訪問したる後伯林に至り獨逸皇帝に拜謁す可く其より轉じて聖彼得斯堡に向ひステッセル將軍の客となる可く又露國皇帝にも謁見す可し

▲**天氣回復せず** 高氣壓西比利亞東部よりオコック海に擴張し低氣壓臺灣方面に續出し尙梅雨季の天氣持續すべく人心悄々たり

▲**海牙會議ご調印** ワシントンに開議中なりし海獸保護會議は客月二十八日を以て大体協議を終了し目下字句の修正中にて不日調印の運びに至るべし

▲**東鐵の市營成立** 東京鐵道會社は六千四百十六萬五千五百十八圓にて本日尾崎東京市長と千家社長との間に東京市へ賣渡すの假契約成立せり

▲**市營案の財源** 東鐵買收の爲め來る六日東京市會を召集すべく二十日前後には東鐵總會を開き各々報告す可く市營の財源八千萬圓は佛國にて外債成立せりと傳ふ

▲**市營反對說起る** 東京市の一部には東鐵買收價格高價なりと反對說起る

雜報

●**恩賜金と貯金額** 通信局調査に係る六月十四日現在各道に於ける恩賜受金者一萬一千三百六十八人にして同金額三十萬圓なるが尙ほ未配付の分一萬一千七百六十五圓を控除し殘額二十八萬八千二百三十五圓の內郵便貯金として既に預入したるもの人員に於て三千四百六十八人金額に於て二万四千七百九十二圓十五錢なりと

●**總督の獨立祭祝賀** 四日は北米合衆國獨立紀念日に相當するを以て當地駐在同國總領事館に於ては午前十時より正午迄に一般の祝賀を受けたるが寺內總督には目下道長官會議開會中なるを以て中山武官をして山縣政務總監は兒玉秘書官をして代理せしめ小松外事局長同道の上午前十時同國總領事館に祝賀を述べたり

●**道長官會議** 總督府に於ける各道長官會議は四日も午前八時より開會寺內總督山縣政務總監各部長官各道長官列席殖產工部所管事項に關し應答あり正午散會したり

●**造山灣築港計畫** 政府は明年度豫算に於て朝鮮の造山灣に一大築港計畫案を提出せんとす造山灣築港は言ふ迄もなく現在の淸津會寧間の輕便鐵道を本鐵道に改築し以て日本海沿岸に於ける聯絡の要港となすものにして將來淸國が吉會鐵道を布設する曉は北滿洲の旅客荷物は多少造山灣に吐出され又北滿洲への輸入も造山灣に依るものあるべく特に北韓防備の必要上現在の會寧輕便鐵道は是非共改築の必要あり且つ其尖端は更らに延長してポシェット灣の對岸に達せしめざるべからず加之間島に於ける我朝鮮移民の保護上此交通機關は一日も緩ふすべからざるものなり斯く重要にして且つ將來有望なる運絡港なれば其設計に於ても寧ろ大連灣以上の大規模大計畫たらざるべからずと雖も只憂ふべきは淸津附近の狀景が能く大連以上の設備を許す能力ありや否やの一事にて目下當局は深き注意を以て尙精査中なりと云

●**總督の訓示**（三）（道長官會議に於ける）

鐵道の建設、道路の改修及港灣の修築を施行すると同時に通信機關の設備完からしめむが爲本年に於て更に其擴張を圖り郵便に付ては京城より各道廳所在地に達する主要の線路及京城元山間の線路を晝夜兼行し又隔日遞送線路中主要なるもの約四百五十里を每日遞送に改め且通常郵便物の集配事務のみを取扱へる郵遞所百八箇所を廢止し之を代ふるに前記事務の外小包爲替貯金及歲出入金受拂事務をも併せて取扱ふ所の郵便所百二十八箇所の新設を以てせり電信に付ては必要なる地點に電信事務を開始するの外電報通信の激增を見るに至りたる京城釜山間其の他必要なる地點間に電信線延長約二百二里を增設し更に京城大阪間に直通回線を構成し以て通信の敏活を圖り又電話に付ては概要の地方十箇所に交換事務を開始し尙京城釜山間其の他に延長合計三百五十里の長距離電話を增設せむとす

以上列擧せる諸般事業にして完成するに至らは朝鮮に於ける殖產興業の發展を裨補する所多大なるべきを疑はず而して其の工程に於て朝鮮の民衆に諸種の生業を與へ一は細民の窮苦を救ひ一は放逸の陋習を矯して力行の美風を養はしむるの機會を與ふべし故に各位は此等工事の勞働に從事することを勸誘すると共に一面に於ては其の勸誘手段の壓制に流るゝを避け地方に於ては勞働者をして驕傲に陷り不當の賃金を要求するが如きことなからしむるべし此等事業の經費中勞銀の大部分は朝鮮人の手中に落つるものなるを以て奸黠の徒勞働者の無智に乘じ種々の手段を遁らし其の所得を橫奪せむとし又は工事請負人の措置宜を得ざるが爲往々紛擾を生じ工夫の逃去する者相踵き事業上支障を來すが例尠しとせず各位は極力此等の弊端を防止するの策を講ずると同時に朝鮮人が其の勞働に由りて得たる賃金の一部は郵便貯金其の他確實なる方法に依り貯蓄せしめ以て勞役後の生計に備へしむることに勉むべし

●**郵便貯金の趨勢** 通信局調査に係る朝鮮全道に於ける本年三月末日現在郵便貯金預け人員は十四萬人にして其の金額は三百二十萬圓なるが之れを昨年度三月末日現在に比すれば人員に於て約三万人金額に於て約九十萬圓を增加したり而して去る三十九年統監府設置以來預け人及金額に對する年々の增加概數は四十年度一萬人二十萬圓の增加、四十一年度二萬人、五十萬圓の增加、四十二年度三萬人七十萬圓の增加、四十三年度三万人九十萬圓の增加なるを以て朝鮮に於ける郵便貯金は年々穩健なる發達を爲しつゝあるを見るべきなり尙は本年三月末日現在貯金人員及目下金額を內地人と朝鮮人とに區別するに內地人十萬人強三百万圓強、朝鮮人四萬人弱二十萬圓弱にして其の預け人一人平均預金は內地人二十九圓弱朝鮮人五圓五十錢弱となり之れを帝國郵便貯金預け人員一人平均十三圓弱に對比すれば在朝鮮內地人の預り金は其の二倍強に當り朝鮮人の預金は約其の二分の一に充たず更に預け人の人口に對する密度を驗するに內三人に付一人の預け人を有する割合にして之を帝國郵便貯金預け人の總人口に對する散布密度なる人口六人對預け人一人に對比するときは在朝鮮內地人預け人の密度は其の四倍に當り朝鮮人預け人の密度は其の五十分の一に充たず又更に郵便貯金金額が人口一に對し若干の割合なるやを驗するに內地人十九圓朝鮮人一錢五厘にして之れを帝國郵便貯金の總人口に對する平均一人當金額二圓二十五錢に對比するときは在朝鮮內地人の預入金は其の約八倍に當り朝鮮人の預入金は約百五十分の一なり

●**賣藥規則發布期** 總督府に於て立案中なる賣藥規則は目下警務總監部に於て立案中なるが近々制令を以て發布さるべし

●**隊長會議延期** 五日を以て終了の筈なる憲兵隊長警務部長會議は都合により一兩日延期すべしと

●**各地方官を招待** 寺內總督は五日午後七時より同官邸に目下滯京中の各道長官及憲兵隊長警務部長を主賓及大久保軍司令官山縣政務總監各部長官明石警務總長柴軍參謀長外波少將俵副總裁池田通信局長官外に各局長を招待し晚餐會を開催すべし

●**憲兵隊長の交迭** 朝鮮駐箚憲兵隊長少佐水園寮明氏は豐橋憲兵隊長に轉補同時に豐橋憲兵隊長少佐大槻又三氏は當憲兵隊長に補せらる

●**憲兵隊長會議** 憲兵隊長會議は四日の日程は午前事務打合午後一時より池田通信局長官鐵道局長官度支部關係課長の講演ありたり

●**大瀛船會社組織** 度支部當局の盡力に因り從來の各沿岸航路悉く統一せられ其結果として近々資本金三百萬圓を以て一大沿岸航路瀛船會社の組織を見るべしと云ふ

●**京城民會議事** 三日の京城民會にては委員會に於ける經過に付き委員長の報告ありたる議事間に紛議を醸したる爲め議事の進行を見るに至らず其儘散會したるが四日午後三時より引續き民會を開きたり

●**商議役員撰擧** 當日本人商業會議所にては愈々六日午後三時より總會を開き役員の撰擧を行ふことに確定せりと

●**仁川商議總會** 既報の如く仁川商業會議所にては三日午後八時より總會を開き役員撰擧の結果會頭には十四點奧田貞次郎氏副會頭には七點稻田勝彥氏當選常議員には森常吉、加藤政太郎、新庄禎一、村谷吉藏、田中佐七郎の五氏當撰孰れも就任する事となり尙特別議員に宮本又七、岩崎南英の二氏を滿場一致を以て推撰可決し同十時散會せり因に一級議員韓國銀行仁川支店は辭任せしより一級一名欠員となれりと

●**南大門外道路の竣工期** 南大門外道路取擴工事は本七月中に家屋全部を取拂はしめ八月一日より地均工事に着手し十日中に竣工せしむる豫定なるも目下尙買收に應ぜざるもの鮮人二名及立退料に故障申立たる內地人一名ありて當局も大に持て餘し居れるも結局土地收用令を適用する次第なれば工事着手及竣工には何等支障なしと云

●**道路擴張期成幹事** 既報の如く本町道路擴張期成同盟會は三日午後五時より壽町商業會議所樓上にて開會發起人以外多數の出席者あり釘本藤次郎氏發起人を代表して挨拶をなし淵上貞助氏座長席に着き田村義次郎氏道路擴張の必要なることを演述し秋吉富太郎、松永達次郎、森勝次、本多潤氏の質疑あり小川勝平釘本藤二郎兩氏之に對し明瞭に說明し滿場異議なく會の成立を是認し趣意書及び會則の披露あり終つて左記三十氏を幹事に推撰して散會す

小川勝平、久保田金次郎、堀尾潔、佐野彥藏、高木德彌、樋口卯作、森久兵衛、梶原末太郎、田中嘉助、釘本藤次郎、田代宗四郎、山下新太郎、淵上貞助、遠藤辰馬、池田長兵衛、大上友次郎、古迫角次郎、田村義次郎、安元傳兵衛、山田幸七、陣內吉次郎、古賀岩助、安井久藏、江里口六一、佐野仁作、秋吉富太郎、森勝次、村上天眞、富田初太郎、白本爲次郎

●**鎭海軍港地の近況** 鎭海灣に於ける軍港工事は日々進捗しつゝあるが兵舍の一部分は既に竣成したるを以て近々防備隊は新營舍に入る可く船渠工事も本年內には起工する可しと云ふ而して其新市街地中飛鳳以既に規定の家屋數約七十戶の建築を終りて內地人悉く居住し縣洞は第一期貸下地區內に約二百戶餘り家屋の建築を了りたるも殆ど全部內地人入り込み尙家屋の不足を訴へつゝある狀態にて本年內には少なくも三百余戶の增築を見ると地人一人五分か村一人朝鮮人三百三十の事なるが更に附近にありし朝鮮家屋部落は數日前全部取拂はしめ別に地區を限りて相當の地所を與へたるため彼等鮮人は遠からず一部落を現出す可しと云ふ

●**農務局長入京** 同氏は三日朝大邱勸業模範場支場林學校を視察し正午より達城館の有志饗餐會に臨席午後一時十九分發急行にて水原へ向ひ四日午後七時七分入京巴城館へ投宿す尙今後の行程は松都安東縣より奉天哈爾賓に至り大連營口に出でゝ天津に渡り北京漢口まで往く豫定なり

●**支部長等招待會** 日本赤十字社山縣朝鮮本部總長には昨冬朝鮮本部規則改正に際し本社に於て始めて支部長又は支部副長を囑託したる各道長官警務部長の來京中を機とし來六日午後七時京城ホテルに一同を招待する由

●**仁川驛の收入** 六月中に於ける仁川驛の乘車人員三千九百三十一名降車人員三千九百二十四名客車收入金四千九百四十三圓六十錢發送貨物噸數一万二千八百六十噸到着貨物噸數一千二百五十七噸貨車收入金一萬六千九百三十二圓五十三錢合計收入金二萬一千八百七十六圓十三錢なり

●**海老名氏鮮人布教** 海老名長田の二牧師は去る二日朝鮮人有志の希望により廣通館上にて基督敎講演をなし聽衆約二百餘名二師は諄々基督の福音を說き日鮮基督敎徒が神の前に一ならざる可からざる所以を叫び聽衆に感動を與へたりと尙元と渡瀨常吉氏が敎育したる京城學堂同窓生によりて開かれたる明月館に於ける渡瀨氏歡迎會に臨み帝國臣民として朝鮮人の位地に就き說く所ありしと因に渡瀨氏は三十二年以來八ヶ年京城學堂を主宰し育英の業に從事し其敎を受し者今日それ〴〵有要の地位にあり今回氏の來鮮により一同欣喜同氏及海老名長田及渡瀨米澤松本其他諸氏を招き歡迎會を催ふしたるものなりと

●**林業經營者增加** 今回發布されたる森林令は從來實施されし林野法よりは植樹の目的を以てする森林貸下等の手續非常に簡便なるのみならず其筋にても出來得る丈の便宜を與ふる方針を執れるため昨今林地貸付等の出願者頗る多しといふ

●**內地講習會へ出席** 京城民團にては小學校敎員中より六七名を選び來る七月二十五日頃より東京及廣島等にて開催さるべき夏季講習會へ出席せしむる由

●**故中大路氏假埋葬** 去る二日逝去せし京畿道內務部長中大路正雄氏の假埋葬は四日午前三時南大門外中の島墓地にて行はれたるが本葬は來る七、八日頃執行さるべしと

●**京城敎會と洗禮者** 過日來海老名氏一行により連夜の說敎會を開きたる相生町京城基督敎會にては連夜信仰の決心者續々として起り既に五十餘名に及ひしを以て同敎會にては去日曜日右決心者中從來敎會に出入して研究をなしつゝありし二十八名に對し先つ洗禮を授け他は漸次洗禮を授くる筈なりと

●**新潟縣視察團** 新潟縣費の補助に依り同縣選拔各級代表者二十二名を以て一團とせる朝鮮沿岸視察團は越佐汽船會社の第十二號度津丸（五百六十九噸）にて六月廿八日新潟出發浦鹽斯德、淸津、城津、西湖津、元山を經て今月八日釜山入港の筈にして十二三日頃京城へ來る豫定なりと尙團員中には前代議士、郡長、會議所書記長、新聞社長、縣技手等ある由

●**有望なる桑苗地** 慶尙南道三浪津附近は現に鮮土唯一の桑苗養成所を以て目さる同地形は洛東江の下流にして土地肥沃なれば桑苗の育成には至極適當の地にして今春同地內地人林田藤吉外五名は約八十五萬本植付をなしたるか其の發育最も優良にして既に最長一尺五六寸より普通七八寸に達し尙は同地朝鮮人は約桑實生三千萬余播種したるが何れも良好に成育しつゝありさの事なれは土地柄と云ひ且つは同地住民の意向と云ひ實に將來鮮土に於ける模範桑苗地なるべしと

●**新繭見本の到着** 農商工部にては各道に命じ過般來新繭見本の取集中なりしが南鮮各地に於ける產繭は此の程漸やく取纏りたるを以て近く檢査の上一般の觀覽に供すべしとの事なり

內地巡禮日記（三十）

水浪生

余が本稿を起してより茲に三十回、下らぬ記事を並べて讀者諸君を煩した罪は尠くない、併しソコがソレ老婆の三十三ヶ所廻りにも比すべき巡禮日記、其內容の撰はざりしは仕方が無い。偕余は家族と共に五日間を宮島に送り其間島廻りを試み、亦た彌山へ登つた併し島廻りや、彌山登りや、素と平凡に屬して記事となすに足らず、因つてソレ等は全く省き、茲には只だ釣魚の一條を記るす。

余が旅館に出入する船頭に某なるあり極めて釣魚に精し、余彼れを案內者に連れ、日々水上に遊ぶ、一回と雖も海の幸に洩れて歸りたるの事なし、季は之れメバルの盛、余と船頭とは一日聖崎に向かつた、船頭の曰く今日は空合も宜しく、汐合も宜し、必ず多く釣れますぞと、到れば此所は聖崎、余は一種の信仰を有して鉤に餌して投げた。鉤を投じ、未だ二分ならざるに大きなヤツが引いた、來たなつと思つた、ツコで余は端なくも先年舞子の沖にて詠める余の舊作を思出した。

寄 釣 戀

かゝれとは祈りこそすれまのあたり

ひかれて胸に波ぞたちける

併し歌が出來るような時は釣れぬ時、今日は歌どころの話でない。まづ最初に揚がつたのが六寸餘りあるメバルの大物、ソレから續いて大小のメバル、ギザミ、果ては腹までれ附合に拗つて、總數〆て三十餘尾、僅かに聖崎まで來た甲斐があつた。

余の釣魚慾は今日こそ僅かに積極的に滿足した、併し眞の釣魚の妙味は寧ろ餘り釣れぬときに存するのであつて、此んな場合に於てこそ釣を垂るゝの人は無我の境に入り、偶一魚の來つて餌に戲むるゝあらば、其期に及んで禪機とかを解し得るものであるのだ。

釣魚と禪機、其關係をば余は大公望と故市川團十郎とに於てソレを認む、後進余の如く稍もすれば獲物の多きを欲する者にありては禪機は中々捉らへ得べきでない。

宮島に盡く、次いで別府に移らんかと思ひしも、家族歸東を急ぐ、仍つて廿五日彼等を宮島驛に見送り、余は其夜下關に向ふ。車中何事なく廿六日朝下關に着す。停車場にて友人某に會す彼れ余に語るに劈頭第一京城に於ける長唄大會の盛況を以てす、余聞いて喜び且つ身は既に京城に歸れるの思を爲す、馬關停車場の梶田君に會す、君余の爲に一日の榮を廢し、歎待頗る深謝に値す。此夜梶田君外二三友人と埠頭に別れ、連絡船櫻丸に搭して關門海峽を發す。回顧すれば余が連絡船によつて下關へ上陸したのは殆んど一ヶ月前であつて、其折には何だか隨分ウルサイ事もあつた、今は然らず、而して實然らざる所以の物は全く當代の賜である。

永々しき巡禮日記もモハヤ種切となつた、因つて之にて擱筆と致す（終り）

公人私人

▲二宮熊治郎（京華京報社主）三日天賓樓へ
▲藥師寺知瀧（江景日本人會長）三日浦尾旅館
▲金在煥（昌城郡守）三日三日月旅館
▲小川市郎（技師）三日仁川行
▲八島明（土木局技師）三日鳥致院行
▲姜守鑓（技師）三日仁川行
▲內山守太郎（朝鮮興信所長）四日釜山より歸京
▲安東讓之助（軍司令部二等軍醫）三日歸任
▲中尾丑吉（經理部一等主計）三日歸任

▲京城手形交換高▼

七月四日 金高 一九〇、八五三、四九〇 枚數 六六八

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客（三日分）
乘車客 七四一 降車客 八二〇
乘車賃金圓 一四五四、三二〇

▲南大門驛荷扱高（三日分）
發送貨物 三七噸 到着 九七
貨物賃金 七八六、一〇〇

▲龍山驛乘降客（三日分）
乘車客 二〇二 降車客 一八六
乘車賃金 二八六、七三〇

▲龍山驛荷扱高（三日分）
發送 五噸 到着 二五三
貨物賃金 六五、四〇〇

▲茶袋▼

▲桂公が濟生會を恰も我物顔に立振舞ひ功を我身一つに歸せんとするが如き仕打は華族及び實業家の感情を少なからず害したらうで、富豪連にして濟生會の寄附に逃けを打つ者あり、又尻込する者あるも畢竟感情から起つたものが多いといふ事であるが▲縱へ桂公が我物顔に立振舞ふたからとて桂公が人心を失ひたり迚、恩賜財團は依然として恩賜財團である、華族富豪の輩にして、畏くも聖旨の在る所を奉體したらんには、世話役の行動如きを眼中にをいて之が爲に心に厚薄を生ずるが如きは出來ない事、殊に自分等が金を出し惜みて其罪を他人に歸せんとするが如きは決して紳士の態度とは云はれぬ▲三日の京城民會は學校增設問題に付て紛議を生じ何等決する所もなかつたらうーなが、學校の增築は此の際至急埒を付けねと、二部教授が何日迄も續いて、結局は子供が可哀想だ議員諸氏愼重に考ふべしだ。

藝妓健康診斷の議と各方面の意見

藝妓に健康診斷を受けさせると云ふ議が傳はつて以來其の側の恐怖と云つたら凄ましいものだ、無理な人權蹂躙だなぞと憤慨するもの、身に覺へがあるから受けても宜しいけど軍醫さんぢやア堪らないつて新町の娼妓さんですら檢查と云ふと慄へて御座る、まして初めて出會す妾達は恐いと云ふもの杯樣々である、從つてでげす從つて局外者にして而して深い關係のある客筋の中にも贊否の論がある、此の時に際りて之れを紹介することも豈に無益の業ならんやでしよう

辯護士　木尾虎之助君

何事にも贊成と不贊成とがあるので議論に花が咲くのである、茲に紹介する木尾君は即ち大の贊成論者で南部寓宇洞（三角町）の住宅に訪問した記者を捉へて恰も法廷に於ける辯論めいた口調で其の得意の長廣舌を揮ふ、曰く、意見大に有りだ而して僕は今度の此の噂の事實とならんことを希望するものだ、當局者が藝妓に健康診斷を行はんと決意したるは必ず大に見る所があつての事と信ずる、併し僕が贊成する所以は決して當局の見る所あるが爲めには非ずして僕には僕一家の信條があつて然るのだ、成程藝妓は一般に――普遍的に情を許さぬと云ふのは事實だが夫れは鳴ばれた人の悉くに賣らぬと云ふ丈で決して多數の人に情を許さぬと云ふのではない僕の見る所を以てすれば官吏でも商人でも藝妓遊びをする客の百人中の六十人は關係するものと斷言する、夫れの現はれざるは存續期間の長からざるに於て然るので一回若くは二回若くは滯在中と云ふ樣な極めて短かい期間の關係は多くの人に知られざるが爲め藝妓の價位が高まつて居るので此の悉くが知れたなら娼妓と何等選ぶ所は無い、只異るのは其の客筋が上等だと云ふのみで娼妓の如く上中下を通じた普通的の者で無いと云ふ丈だ、而して花柳病の隱蔽は上中流に多い、妻を憚り上長を憚り更に子弟教養に影響する事を憚つて、之れに反して下流の方は其樣な職は更らに無い直ちに公然と其の治療に手を盡す、之れを醫師に聽く六〇六號の厄介になるのは上中流に多いと云ふ、此の危險なる一部人士を得意とする藝妓の健康診斷は最も必要なことである、藝妓に接する機會夫は成程初手から情事の目的を以てするものは少數だらうが併し此の相談なるものは酒を飲んで後成立する者であるから當初の目的云々は問題にならない、而して其關係を目して情人關係となすは表面に與へられたるが如く見る權利の主張なるものを過大視した結果と思ふ、更らに其の馴染金を目して愛の表現だと云へば云ひ得られんも到底事實に於て牽强附會の說たるを免れまい、藝妓にしても客にしても、自身が此の病毒に侵されしを知るや直ちに手當をするとしても其の潛伏期中の夫れと知るに由なかりし時を如何せんやだ、前述の如く此の病毒多き上流の人に接する藝妓は健康診斷の執行に依つて一種の保障を得た事を光榮とするであらう、人權もヂヤンケンもあつたものでないドシ〳〵行ふべしだが其の方法は極めて穩當の手段に出ずば問題が起らんとも限らぬ、野暮と云ふ勿れ僕は却つて藝妓の健康保持上から之れに贊成するのだ、と目下日の出の勢ある少壯法律家は如才の無い事を云つて結論した

新町病院問題に就て

過日「漢城病院と娼妓」と題して記載したる事に就て其後聞く處に依ると檢查場には府新町病院を充てし檢查醫は警務總監部から差し回さるゝ事と成つた相である先づは極めて結構であるが其の治療を要すべき患者を收容すべき病院の漢城病院たることは依然たりだ相だが記者は此れを以て風紀上に大なる危險を及ぼすものと思ふ、と云ふのは斯くなつた曉漢城病院は現在の設備を如何に變改するかは知らぬが同一構內に一般公衆、語を換れば紳士、淑女の患者と賣笑婦の夫れとを混容すると云ふことは斷じて不可であると思ふ、何うあつても此れは彼の新町病院を遊廓組合に拂下げて總監部の監視の下に之れを經營せしむるのが至當であると斷言する、と書いて居ると總監部でも其れの至當を認めて其の議が纏つたのだ、民間でも本日の議に其の拂下げの議を附して居ると傳へられた、纏れば結構である

仁川海水浴場開始

▽愈々來る九日日曜日

天然の美景を有し殊に多大の歷史を有する仁川港は夏氣消遊の好位置に存在せるは夙に人の知る處なるが未だ遊興を貪る可き遊び場所等なきは遺憾なるより久水仁川府尹其他有志發起となり京龍間の有志を說き萬石町蕃猫島砲臺跡に大々的設備を加へたる一大海水浴場を設置する事となり昨今稻田勝彥氏主として該場の準備に取蒐り晝夜兼行工事を進行しつゝあり來る九日の日曜日には開場するに至るべしと云ふ尙該場の設備としては水道局より料金の割引を以て噴水及瀑水の設備をなし尙電燈會社にては同樣多數の電燈を點し夜間眩き迄に光々明とし異彩を放たしむべく電話及郵便ポスト等を設け尙娛樂としては海上には艇舟あり魚釣道具あり陸上には大弓場角力場射的等の設備あり仁川病院よりは特に無報酬にて看護婦を出張せしめ居る筈なりと因に京城よりの滊車賃は目下鐵道局に交涉中なれど三等往復七十五錢二等一圓六十錢となるべしと云ふ

●豆泥棒の驅落　平南道

鎭南浦林町二番地三浦正夫（二三）は去る四月十日鎭南浦林町一番地中藤鐵藏が所有の大豆四十五叺代金六十四圓五十錢を同東五丁目濱側に積み置きたるを賣買の契約をなし現金取引の筈なりしに同十二日正夫は右大豆の看守人洪基弘に向ひ該代金は支拂せりと稱し搬出し同三和通り永富一之助に賣却し代金を受領したる其儘鐵藏に支拂ひせず同町の某料理店の酌婦松本ヒサ（二三）を連れ出し何れへか姿を晦したるより前記鐵藏より告發に及びたれば其筋にては八方行衛を搜査中なりしが遂に二日午前八時仁川署の刑事が宮町一丁目吉田下宿屋に宿泊なし居る怪しき男女に目を付け取調へたる處前記の正夫と判明したるより目下取調へ中

●預けて置て盜む　中部

寺洞六統八戶崔基龍方殊東善（三三）は殷成漢なるものに金七十圓を預け置きながら該金を窃取したる爲め北部署に捕れ取調中なりと

●野呂間小泥棒　北部

階洞六十四統一戶靴商高仁洙（二四）は四日午前一時三十分頃町百番韓日貿商橋本方に忍入り金品を窃取せんとせし處を取押へられ南部署に突き出され取調中

●月塗報恩講

若草町曹洞宗南大本山別院にては今五日午後八時より田中道圓老師の說敎及び隨身雲水の宗意問答和讃等ありと參詣せらるべし

●尻を十參らる

西部盤松坊蛤洞百七十九統九戶林白龍（十七）は二日より三日迄獨立門通り二丁目街路に店舖を設け交通妨害を爲しゝより笞十に處せられたり

●無錢遊興

南大門西裏通り三丁目笠本淺次郞（三二）は酒縁にて無錢遊興を爲し南部署に突き出され取調中

●練武場發起人總會

仁川練武場設立に付去る三日發起人總會開催の筈なりしが都合により延期となりしより更に來る六日午後七時より民團樓上に開會し協議する事となれりと因に同練武場には擊劍、柔道の外機械體操、木馬、棚、鐵棒、大弓等の設備をなし一般體育に資すべき計畫なりと云ふ

●小兒小兒を殺す　忠淸

北道淸州邑の學校組合長なる元田元吉の次男俊平（七）は去る三十日午後四時自宅に於て遊戲中父母の不在に乘じ押込の中より護身用の五連發銃を取出し弄び居るが誤て道廳雇員德丸誠三の次男某（八）の胸部を打ち即死したり

目下開會中の羅馬國美術博覽に於る日本特別館

▲客あり問ふて曰く文之助と云ふと何者ですかと老人曰く菊家の文之助と藝妓だすがナ客重ねて曰く可愛いいゝいゝサマサカと▲老人團起になつて曰く「ツラアンタ方がヨウ見なはらんから似たとは愚かエートツヤツヤ西瓜二つや▲小だるまの半生史中旭町の池田さんとは原田さんの誤りなるべしと申越されたる人あり其通り〳〵▲元西小門通りにて藝妓稼業を致して居つた三光即ち朝日ずし長谷川の女房今度此度龍山桃山朝日樓より以前通り三光の名にて一エ今晩はと罷りツン出たる由何分御贔負を下されたいと月並な事を申して居り升▲れ約束の京城樓の八重子と月子の秘密は材料を遣ると云つた當人が泣き着かれたと見へて可愛相だと二の足を踏んで居るので困つた目下內探中ですから遠からず御披露出來ると思ひます

平民文庫

▲嘗て本町一丁目角に新築中なりし靑木堂が略落成に近づいたと云ふから關白の格で內覧と出掛けた▲階下は今の業體を擴張して化粧品、文房具舶來雜貨類のデパートメントに使用すると云ふで極めてハイカツて居る▲二階三階は西洋料理に使つて宴會も引受ける貸席もする待合室には新聞雜誌を備へ化粧室には高等化粧品及道具は勿論洗面所の設備もある淸潔なる便所と共に何れも公開して通りがゝりの人と雖ども自由に使用することを得る▲日本室には疊を西洋室には椅子を備へて三四五人の會食に適する小食堂もあり一品料理に生ビール若はアイスクリーム紅茶コーヒーの一杯賣をもすると云ふ

爺のすさび

▲風閑子さん井門の鶴吉の名の賣れないのは枕を賣らないからなゝです……京城ノ客で氣前を買う如な粹人はないからね……だから本人も京城では妾などは見込がないと申して居ます▲ぶた子と云ふ名で投書があつた、果して然らば京城人士もれ安いものなりだ▲白水の老人東雲書伯の達磨の書を眺めて曰く此れは文之助に其儘だす哩

極めて平民的の方針の下に營業すべき設備は充分だ▲併し方針斗り立派でも實際の營業法が不親切では困る金次郞君シツカリ頼む（チンコロ）▲岡田榮さんは此の唄何とか會で當つた何んとかの大根洗ひの圖柄の幅に就いて書家は何かと云ふ圖中の人物が大根を左手で洗つて居るからだと一寸聞くと御尤もだがね君彼れは宮中へ獻上の大根なるが故右手では手荒くなり易いからこそ彼のつかぬ如左手で柔々とするのが故事なのだよ（物識生）▲僕は久し振りに南山本願寺信友會の講演を傍聽して大に得る所があつたが京城の人物質的方面にのみ奔るのは殘念だ（エム生）▲私は暑中休暇を利用して五十圓程の金で東京までの間の名所を探りたいと思ひますが御海容の樣なものには何が宜しいかしら（一學生）▲土曜の晩の冷しうはのれ店でれ腹がすつかり丈夫になり翌朝下痢したれ禮を申すよ（エム生）▲酷暑に成らない內に長崎市人會を催したいものですね敢て發起人諸君に求む（長崎市人）▲本町六丁目の郵便受取所の評判は非常に惡い不親切不敏速だと監督局は何をして居るのか煙草屋業者もある世だ、未だ耆婆には早いと思ふ（平民の子）▲大和町邊から光化門通りの某局に通勤の浜浦さん雜貨商賣と公務とは違ひますよ上に向つて他人の事を彼れ是れ惡口する僻に自分の事は棚の隅キ襲恐れ入ります（壁の耳）

●諸公債諸株券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目 大阪野村銀七代理店 田中友吉商店 電話九九三 電略(タ)

三輪井上兩博士方劑
懷中良藥
消化と毒けし
ジンタン 仁丹 THE JINTAN
●月中外出の時 ●執務讀書の時 ●旅行散歩の時 ●納涼水泳の時 ●酒煙草の前後
仁丹のめば
▼精神爽快にし ▼元氣を旺盛にし ▼疲勞倦怠を去り ▼頭ろ清涼を感ず
何人も御服用あれ
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四、一〇六八 振替口座京城十六番

月經をつうぢ子宮病を全治す
月經不順
二十世紀之新劑 最良新藥
每月丸
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上眼く等の病を根治し、血のめぐりを能くす●
定價 一日入錢半 週分廿五錢 一週[illegible] 二週分[illegible] 三週分[illegible]四十錢
常に月經異動ある人持藥とせば德血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也
本舖 大阪心齋橋二丁目 丹平商會本店
支舖 東京日本橋區[illegible]屋町 丹平商會支店
●賣捌は東京市内其他各店に取次す

神易活斷
京城旭町一丁目(萬千閣の下) 山の内

代理店
開春
目藥
京城南大門通三丁目 新井藥房 電話一〇六八番 九四〇番 振替口座京城十六番

澤山商會支店(サワヤマ)
洋家具 裝飾部
洋家具裝飾品專門
京城太平二丁目大漢門前 電話二二五番
(蘆澤商會京城支店改名)

ビール サッポロ アサヒ
綠陰とビール 快味云ふべからず

謹告
曩に廣告候如くラージ自轉車廉價販賣の爲め非常の壓迫を受け當店の信用に大影響を及ぼし候得共當店は利害の爲に各御得意の御高顧に背く事を潔しとせず益々勇進出來得る限りの低價を以て御需用に應じ可申殊にラージ廿九號本年始めて輸入したる優美高尚の自轉身にて京城大連は申すに及ばず內地にても輸入數極めて少數に御座候間此際競うて御需用願上候
着荷以來數日ならざるに已に多數賣行申候に付半打以上の御注文は一時御斷申上候
玉突用附屬品多數着荷仕候
京城南大門通三丁目 松岡自轉車商會京城支店 電話一一七二番

資本金 一千萬圓
積立金 六百〇五萬圓
明治六年設立
株式會社第一銀行京城支店
京城南山町三丁目
電話 一二一一番 六一二番
振替貯金口座朝鮮一二一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

花柳病 外科一般 痔疾專門 特にけのできもの(しもの やまい ぢ)
橫痃 電氣吸收療法 股肛 無出血根治療法
痔核 注射療法 痔瘻 操療法
相生町 京城梅毒病院 院長醫學得業士 蘆田耕平
電話一二九四 分院 仁川仲町二丁目 仁川外科病院 院長 隔日午後と夜間診療

新製品發賣廣告
銘葉精撰
品質良好
香味絕佳
價格低廉
金貳錢

今般發賣ノ兎煙草ハ未曾有ノ廉價且品質佳良ノモノニ候間陸續御愛用被成下度奉願候
朝鮮京城明治町
日本官煙 朝鮮 滿州 一手販賣特許
東亞煙草株式會社

効能ある温泉
浴用効能 りようまちす、ちうふう、しんけいつう、せんき、かつけ、らいびよう、ばいどくせいできもの、りんびよう、しようかち、しきゆう、ぢのいたみ、つきやくふぢゆん、ひせんがんさ其他皮膚病一切
外用効能 きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、あせぼ、まんせいできもの、いんきん、たむし、うちみ、ひぜん、はのいたみ、いんこうかたる
內用効能 いひんけつ、しんぞうかびよう、ちようかたる、らいびよう、たうびよう、はいびよう、たうだん、かつけ、しんけいつう、りようまちす、せきずい、じんろう、ちゆうふう、げり、はらいたみ、病後衰弱、りんびよう、しようかち、しきう、酒のよい
京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手(電話一四一二番)
旅館 浴客 貸席 鐵冷温泉

緩和下劑
カスカラ糖衣錠
東京三共合資會社朝鮮總代理店
仁川本町 竹田津三平

專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
M.C.C.
土耳古 紙巻 賞
エムシーシー
京城、平壤龜屋 釜山、木浦、群山高瀨支店

總督府及諸官衙御用
荷物運搬 引越荷物受負
伊藤組
本町三 南大門驛 大和町 同第二
電話 四〇番 七三二番 九四八番 一六〇八番

眼科專門
前大韓醫院眼科部長
京城本町六丁目(元軍司令部通り)
金井眼科醫院
電話一五五六番
金井豊七

日本政府檢定濟
度量衡器特許輸入販賣所
文房具 和洋紙 度量衡器
シノサキ本店
京城本町一丁目(郵便局前)
電話 長七百五番 六四八番 振替口座朝鮮一五四番

義齒術全般
京城旭町一丁目
齋藤英壽
電話一四一四番

牛馬 犬猫 治療所
入院 隨意
京城明治町三丁目
小川家畜醫院
院長 小川龜太郎
(電話四二七番)

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三四九二番
日本室和食
特等(三圓五十錢) 一等(二圓五十錢) 二等(二圓) 三等(一圓五十錢)

名譽銀牌受領
キリンビール
瓦斯コークス販賣
京城黃金町高等演藝館隣
酒井組
電話一一四九番

いよく蚊軍來襲す
恐るゝ勿弊店には
關戶蚊帳株式會社特製品最新式縫目なし染分蚊帳全部其他色々取揃へ防禦の用意は拔目なく整いて居ります
特ニ七月一日ヨリ
運送中の少々のキヅものに限りんさ大見切賣を致升然し數に限りがありますから早いた方樣程御得策です
地方よりの御注文は最も迅速に發送致ます
京城明治町一丁目(電話二六一番)
△唐川吳服店 蚊帳部

尊ノ醬油
高雄文店 仁川京城

泣齋流割烹
すゞ津祢
南山町一丁目 電千五百二番

芙江 公州 間 定期出帆廣告
芙江發毎日午後一時四十分 公州發毎日午前七時 芙江着後四時半 公州着後六時
船內御客樣の娛樂用として新聞雜誌將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ
三竹丸 天草丸 成歡丸 海和丸
鎭南浦行 海州行 鎭南浦行 海州行
七月六日正午 七月八日夜 七月六日前十時 七月六日前十時
六月中 瀛船出帆廣告
合資會社仁川本町四丁目
秋田商會船舶部
電話一七三番 七五〇